

## 事例Ⅱ 林業大学校と連携した人材育成

(東北森林管理局 秋田森林管理署)



- 秋田県秋田市(あきたし)
- 連携協定式

- 秋田県秋田市(あきたし)  
財ノ神(ざいのかみ)国有林
- 秋田林業大学校生による植栽

東北森林管理局では、国有林と民有林が連携し、森林を活かした地域経済の活性化等に取り組むことを目的として、平成26年9月に秋田県と「秋田を元気にする緑の覚書」を締結しました。その後、覚書に基づく取組の一環として、秋田森林管理署と秋田林業大学校との間で研修フィールドの提供を始めとした「人材育成に関する連携協定」を令和3年3月に締結しました。

令和3年度は、林業大学校の実習がより実践的なものとなるよう、国有林での事業発注における作業仕様や注意事項に沿って、伐採跡地で地拵・植付作業の実習を行いました。また、協定が締結されているエリア内において請負事業を実施している事業体2社が林業大学校生のインターンシップを受け入れる等、実践を意識した取組となるよう進めています。

今後も、林業大学校との連携協定を踏まえ、より実践的な技術と知識を習得するフィールドとして国有林野を提供し、林業の人材育成を図るための支援に取り組みます。